

中国語原文	日本語仮訳
<p>附件 3:</p> <p>跨境贸易人民币结算业务升级说明</p> <p>针对跨境贸易人民币结算出口货物退（免）税业务，现行出口退税管理系统升级调整如下：</p> <p>一、出口货物退（免）税认定功能调整 对总局现行出口退税系统中“出口货物退（免）税认定”功能进行调整，增加“是否跨境贸易试点企业”的选项。</p> <p>二、预审、审核功能调整</p> <p>（一）在读入企业申报数据时，对企业是否为“跨境贸易试点企业”进行验证。</p> <p>（二）企业申报出口退（免）税明细数据对应增加相应的标志，如在备注栏填写“KJ”（“跨境”首字母缩写为“KJ”），标明该笔业务为跨境贸易人民币结算业务。</p> <p>（三）系统在审核时，判断企业申报数据备注是否包含“KJ”，如果包含则不审外汇核销单对应的全部疑点。</p> <p>三、系统增加审核疑点</p> <p>（一）企业非跨境贸易人民币结算试点企业，申报数据含‘KJ’标志：疑点级别 E 级，不可以人工挑过。退回企业重新申报。</p>	<p>添付ファイル 3 :</p> <p>クロスボーダー貿易人民元決済業務のグレードアップに関する説明</p> <p>クロスボーダー貿易人民元決済における輸出貨物税金還付（免除）業務に対して、現行の輸出税金還付管理システムを以下の通りグレードアップする。</p> <p>一、輸出貨物税金還付（免除）の認定機能の調整 現行の輸出税金還付システムにおける「輸出貨物税金還付（免除）認定」機能を調整し、「クロスボーダー貿易パイロット企業であるかどうか」という選択肢を追加する。</p> <p>二、予定審査・審査照合機能を調整</p> <p>（一）企業の申請データを審査する際、企業は「クロスボーダー貿易パイロット企業」であるかどうかを検査する。</p> <p>（二）企業が輸出税金還付（免除）申請データの内訳に応じて、相応の標識を増やさなければならない。例えば、脚注欄で「KJ」を記入し（「跨境」という漢字の略称）、当該業務はクロスボーダー貿易人民元業務であると表明する。</p> <p>（三）管理システムは企業の申請データを審査する際、脚注欄に「KJ」が含まれるかどうかを判断し、含まれれば外貨照合書に関連するすべての質問点を審査しない。</p> <p>三、システムに審査照合の質問点を増加</p> <p>（一）企業はクロスボーダー貿易人民元決済パイロット企業ではないが、申請データに「KJ」とのマークを含む場合、質問点を E 級と設定し、自ら選別してはいけない、申請資料を企業に返却して、もう一度の申請を要請する。</p>

<p>产生条件： 在系统出口货物退免税认定表中，企业为非跨境贸易人民币结算试点企业，但企业申报出口明细数据对应备注栏设置“KJ”标志。</p> <p>（二）报关单（XXX）为人民币报关，请确认后进行处理：疑点级别 W 级，可以人工挑过。确认无误后可以人工挑过。</p> <p>产生条件： 企业申报出口明细数据对应报关单成交币别为‘142’，并且核销单号不为空。</p> <p>（三）报关单（XXX）成交币值为空，请确认后进行处理：疑点级别 W 级，可以人工挑过。确认无误后，根据规定进行处理。</p> <p>产生条件： 企业申报出口明细数据对应报关单成交币别为‘ ’。</p> <p>（四）出口企业（XXX）非试点企业，报关单为人民币报关业务：疑点级别 E 级，不可以人工挑过。</p> <p>确认企业为试点企业，要求企业办理出口货物退免税认定信息变更；如果不是，退回企业重新申报。</p> <p>产生条件： 在系统内出口货物退免税认定表中，非试点企业，报关单成交币别为“142”，并且核销单号为空。</p> <p>（五）申报出口数据报关单（XXX）未设置 KJ 标志 疑点级别 E 级，不可以人工挑过。 确认企业为试点企业，要求企业办理出口货物退免税认定信息变更；如果不是，退回企业重新申报。</p>	<p>発生条件： システムの輸出貨物税金還付（免除）認定表に、企業はクロスボーダー貿易人民元決済パイロット企業ではないが、企業輸出の申請データ内訳の対応脚注欄に「KJ」マークを設定した。</p> <p>（二）通関申告書（XXX）は人民元での通関で、確認した後に処理してください。質問点を W 級と設定し、間違いがないと確認した後に自ら選別できる。</p> <p>発生条件： 企業輸出申請データ内訳の対応通関申告書の成約通貨種類は「142」で、且つ照合書の番号は空いてはいけない。</p> <p>（三）通関申告書（XXX）の成約金額欄が空いている、確認した後に処理してください。質問点を W 級と設定し、自ら選別できる。間違いがないと確認した後に、規定に基づいて処理する。</p> <p>発生条件： 企業輸出申請データ内訳の対応通関申告書の成約通貨種類は「 」である。</p> <p>（四）輸出企業（XXX）はパイロット企業ではないが、通関申告書が人民元通関業務である場合、質問点を E 級と設定し、自ら選別してはいけない。</p> <p>企業はパイロット企業であると確認したら、企業に輸出貨物税金還付（免除）認定情報の変更を要請する。パイロット企業でなければ、申請資料を企業に返却して、もう一度の申請を要請する。</p> <p>発生条件： システムの輸出貨物税金還付（免除）認定表の中で、非パイロット企業の通関申告書の成約通貨種類は「142」で、且つ照合書の番号が空いている。</p> <p>（五）輸出申請データの通関申告書（XXX）は KJ というマークを設定していない。 質問点を E 級と設定し、自ら選別してはいけない。</p> <p>企業はパイロット企業であると確認したら、企業に輸出貨物税金還付（免除）認定情報の変更を要請する。パイロット企業でなければ、申請資料を企業に返却して、もう一度の申請を要請する。</p>
---	--

<p>产生条件： 在系统内出口货物退免税认定表中，企业为试点企业，报关单成交币别为“142”，并且核销单号为空，企业申报出口明细数据备注栏未设置“KJ”标志。</p> <p>（六）报关单（XXX）非跨境贸易人民币结算业务：疑点级别 E 级，不可以人工挑过。退回企业，重新申报。</p> <p>产生条件： 在系统内出口货物退免税认定表中，企业为试点企业，报关单成交币值不是“142”，企业申报出口明细数据备注栏设置“KJ”标志。</p>	<p>発生条件： システムの輸出貨物税金還付（免除）認定表の中で、企業はパイロット企業で、通関申告書の成約通貨種類は「142」であり、且つ照合書の番号が空いて、企業輸出申請データ内訳の脚注欄に「KJ」マークを設定してない。</p> <p>（六）通関申告書（XXX）は非クロスボーダー貿易人民元決済業務である場合、質問点を E 級と設定し、自ら選別してはいけない。申請資料を企業に返却して、もう一度の申請を要請する。</p> <p>発生条件： システムの輸出貨物税金還付（免除）認定表の中で、企業はパイロット企業で、通関申告書の成約通貨金額は「142」ではなく、企業輸出申請データ内訳の脚注欄に「KJ」マークを設定した。</p>
---	---

【日本語仮訳：三菱東京 UFJ 銀行(中国)有限公司 企画部調査課】